

事業番号	- 4	事業名	子どもルーム事業			
所 管	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成	課
【検討委員の主な意見等】						
<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体・手法の分析が必要。校区単位での設置は、地域ニーズを再検討。 ・市全体の子育て支援のシステム化が必要。本事業は廃止し「まちかど子育てサポートルーム」と一体化し、「ひろば型」50箇所として事業を実施すれば、よりきめ細かい子育て支援が行える。求められているのは、未就園児がいる家庭を対象とした安心して子育てができる支援施策である。 ・地域の子どもは地域で育てるという主旨を実現するには、地域社会の教育力、コミュニティ再生を図るのが本筋。地域社会の在り様を見直さないと補助金交付型で事業を行っても効果がない。 						
【評価区分】「主な具体的強化策」、「主な具体的改善策」は市民審査員からのご意見です。					審査員	検討委員
市で実施(現行どおり)					4	0
市で実施(強化・拡充)					1	0
主な具体的強化策	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所の増加が急務だと思う。それと、地域の人達にPRをもっと行い、こういう場所があると知らせること。保護者と児童が共に公園等で気軽に話し合える場所を提供する事も良いと思う。 					
市で実施(要改善)					5	4
事業主体・手法の改善策	民間への委託を進める				(0)	(0)
	市民との協働を推進する				(2)	(0)
	市が直接実施するのではなく、補助金等を支出して、他の事業主体(担い手)で実施する				(0)	(0)
	その他				(0)	(1)
事業実施の改善策	事業の実施内容を見直す				(2)	(1)
	他の事業との統合・再編を検討する				(2)	(2)
	事業規模を見直す(サービスの水準や対象者等)				(0)	(0)
	市以外からの財源の確保を図る				(0)	(0)
	サービス受給者の自己負担を見直す				(0)	(0)
	PRを強化して、事業の周知を図る				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)
主な具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと親同士のつながりができたという実感を市民がもっと得られるような制度にしていくべき。 ・全校区に作るのは必要なく、地域の協力のもと必要な所だけで良い。 					
実施主体の見直し					3	1
選択の理由	民間の方が効果的・効率的にできる				(1)	(1)
	国や府で統一的に実施する方がよい				(0)	(0)
	他の自治体と広域連携で進めるほうが効果的・効率的にできる				(2)	(0)
	その他				(0)	(0)
事業は不要					5	0
選択の理由	行政で行う役割は終了している(事業開始当初の目的は既に達成されている)				(1)	(0)
	時代の変化に伴う課題やニーズ(需要)を反映していない				(0)	(0)
	事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい				(1)	(0)
	サービス受給者の自助努力に任せるべき(税金を投入する必要はない)				(0)	(0)
	効果がない(低い)				(2)	(0)
	その他				(1)	(0)

各評価の内訳人数は、2つ以上の選択のあるものについてはカウントしていない。